

ステイホームみえ

～医療支援在宅ボランティアみえ～

2020年5月

命を救い健康を守るひと達を支えたい

届いたみんなの思い

医療の最前線で命を守るために日夜働きつづけてくれる医療従事者や病院関係者のみなさんに対して自分になにかできないか？そんな思いを持ったみなさんと、最前線で働く方々の間をつなげればと立ち上がったこのプロジェクト。支援先の医療機関から、続々とうれしい声が届いています。

～メイクガウン・プロジェクト～

現在までに40組超のご賛同をいただき、医療機関にお届けできたガウンは1800着を超えました。現在も、続々と参加のお申し込みをいただいております。支援の輪はどんどん広がっています。

プロジェクト発足当初から支援を続けてきた、伊勢赤十字病院ですが、現在までに1078着のガウンをお届けすることができました。「みなさんに本当に助けられた」、「一番苦しいときに応援してもらって本当に勇気をもらった」等々のお礼の言葉をいただきました。伊勢赤十字病院では医療資材業者からの仕入れがなんとか希望量を満たすようになってきたため、当面支援を休止します。

～フェイスシールド・プロジェクト～

国立病院機構三重病院でフェイスシールドが不足しているためOHPシートを利用して手作りを検討しているという話を受け、フェイスシールドづくりをお手伝いさせていただきました。21名のボランティア（最年少は小学1年生）であわせて1,170枚のフェイスシールドを作成して提供することができました。三重病院のみなさんからボランティアに対して感謝状をいただきました！

（現在、物資が充足したためプロジェクトは休止中）



製作風景

みなさんの作業場から



さらなる支援を届けたい

今後の展開

すべての医療機関で物資が充足してきたかという、残念ながらそうではありません。物資の世界的な需要ひっ迫で全国的に入荷が滞っており、病院職員さん達が退社後に自宅で手作りしている状況は続いています。今回、新たに志摩市民病院、県立志摩病院、名張市立病院、一志病院、国立三重病院などの支援を立ち上げます。

～今後作るガウン～

支援先医療機関のご希望を取り入れ、今後は以下の2種類のガウンで医療従事者の皆さんを支援していきます。皆さんのご協力をお願いいたします。

①ポリ袋ガウン（一体式）ver2

発熱患者対応で必須。発熱がある疑い例患者や新型コロナ陽性患者の対応などに使用。発熱外来のある病院だと日常的に利用します。エプロンより少しだけ難易度が高めですが、慣れてきた方や、製作が得意な方は、ぜひこちらの製作をお願いします。



新谷さんのアイデアで誕生した一体型ガウン。看護師さんが一目見て、これがほしい！と言ったという優れたもの。現場からも市販のものより袖や裾が長くて安心感がある等の声が届いています。

②ポリ袋エプロン ver1.6A

入院患者の配膳や汚物処理時などで日常的に利用。新型コロナに限らず一般的な感染症予防対策としてどのような病院でも日常的に利用します。切るだけの作業なので、気軽に参加していただけます。現在、高密度ポリエチレンのポリ袋をお持ちの方は、袖の熱圧着は難しいのでこちらのエプロンの製作に集中していただくといいかと思います。尚、今回のバージョンからコストダウンと使用感向上を目指して、45Lのポリ袋を使用しています。お手元の70Lポリ袋がなくなりましたら、45Lにて製作をお願いいたします。



モデル・製作は代表の山本さん。「不器用な自分でも簡単に作れましたよ。」とのことでした。

ボランティア大募集

今後、支援が必要な病院がさらに増えると思われます。さらにボランティアの仲間を集めたいと思いますので、仲間集めにもご助力をお願いします。チラシを同封しますので、ぜひご活用ください。

事務局から：

病院現場で感染防護対策を行っている方にみなさんが作ってくれたガウンやエプロンのサンプルを見て頂くと、込められた気持ちが伝わってびっくりされます。そして「私たちが支援を受けてもいいのですか？」と質問されます。その驚きの表情とこみ上げる笑顔を見ながらみなさんにもいつか見て頂きたいな、と思っています。（やまもと）

まもりたい
M みんなの
I いのちと
E えがお

ステイホームみえ～医療支援在宅ボランティアみえ～プロジェクト

企画/運営 特定非営利活動法人みえ防災市民会議

516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町 170 番地 1

プロジェクト専用電話 070-4088-0099

プロジェクト専用 e-mail covid19.vmie@gmail.com